

山田高校が2つの競技で インターハイ出場を決める

第61回県総合体育大会が5月20日から6月21日まで行われ、山田高校がボートと空手道で共にインターハイへの出場を決めるなど、その活躍ぶりが光りました。

ボート

ボート競技は6月5日から花巻市の田瀬湖ボート場で開かれました。男子かじ付きクオドルブルは予選から順調に勝ち進むと、決勝ではゴール手前まで勝負がもつれ込む接戦を制し、見事この種目3年ぶりの栄冠を手に入れました。

女子ダブルスカルに出場した田村詩織（3年）・後藤佳子（2年）組は予選から圧倒的な強さで勝ち進み、決勝では2位に約5秒の差をつけ優勝。男子かじ付きクオドルブルと共にインターハイ出場を決めました。また、女子ダブルスカルの昆夏海（2年）・佐々木しおり（同）組が3位、女子かじ付きクオドルブルが2位に入賞しました。男子主将の佐々木悠さんは「あ



インターハイ出場を決めた男子かじ付きクオドルブル出場選手（上写真）と女子ダブルスカルの田村詩織・後藤佳子組



女子ダブルスカルの昆夏海・佐々木しおり組（左写真）と女子かじ付きクオドルブル出場選手

空手道

空手道は6月6日から盛岡市の県営武道館で開かれ、山田高校は団体組手で女子が優勝、男子が3位に入賞しました。

女子は準決勝で大船渡に3対1で勝ち進むと、決勝でも集中力を切らず釜石商工に4対1で勝利、6年ぶりの栄冠に輝き、見事インターハイへの出場を決めました。



3年ぶりの優勝旗を手にする女子空手部の皆さん

まり力を発揮できなかったがみんなが一つになり優勝できた。インターハイではさらに団結を強めて頑張りたい」、女子主将の田村詩織さんは「大会では全然余裕がなかった。次は二人の息を合わせて頑張りたい」とお互い次の大舞台での活躍に向けて気を引き締めていました。

▽かじ付きクオドルブル出場選手 男子：上野博則、大森隆司、鳥居葵、佐々木悠、赤瀬雄輝（いずれも3年） 女子：武藤彩（3年）、佐藤緑香（同）、野田千香子（同）、伊東優香（2年）、湊智美（同）



団体3位入賞の男子空手部の皆さん

男子は準決勝でこの大会で優勝した釜石に敗れましたが、堂々の3位入賞を果たしました。女子主将の戸田麻希子さんは「みんなが全力を出し切ったところが優勝につながったと思います。インターハイでは一戦一戦集中して戦いたい」と決意を新たにしています。

▽団体組手出場選手 女子：山崎希（2年）、佐藤詩織（3年）、今野千尋（同）、戸田麻希子（同）、山崎結貴（2年） 男子：横田浩孝（3年）、佐々木康之（2年）、尾形大地（同）、斎藤健太（同）、高橋竜馬（1年）、佐藤進哉（同）